

まちの話題

▶ひとつぶてんとう園種まきプロジェクトin滋賀～みんなで作る保養～▶昨年に続き2回目となったこの夏の保養、無事終了することができました。～みんなで作る保養～のなまへの通り、みなさんと共につくりあげていることを実感し、大きな愛につつまれた日々。支えてくださったみなさん、そして昨年、今年と保養場所になる住まいを提供して下さった○さん、○さんに心から感謝を伝えたいです▶たくさん書きたいことがあるけれど、今回は「私と保養」ということを振り返ってみたいと思う▶千葉県から滋賀県への避難を経験(100ベクレル/kgは放射性廃棄物で本来ならドラム缶に入れて厳重に管理されるべきところ、私の住んでいた家の庭の土壌は3000ベクレル、近所の公園は8000ベクレルを超えるところも)。放射能は人と共存できるものではなく、避難を決定してほしいという思いが私の根底にあったので、「保養という方法を手助けすること」に自分の中で答えを出すまでにたくさんの時間が必要だった。放射能の怖さとなりあわせの生活をしてきて、もうこれ以上被曝はできない、したくないという思いの中、「保養に関わることをする」ということは覚悟のいることでもあった▶2014年夏、滋賀に保養に来ている方に出会いお話しした際、その方の心の奥深くにしまい込んだ気持ちがあること、本当の自分はどうしたいのか心の深くでは知っているのに、できないと思いついて、そのありのままの気持ちにその方がたどりついた時に、私自身「これだ」と深い納得を得、「私の保養」の出発点となった。どの判断が正しくて正しくないか、なんてことは誰にも分からない。誰かが決めることでもない。ただただ保養に来られた方が自分自身の気持ちと向き合い、自分自身をとりもどせる場所として、ひとつぶてんとう園の保養が在ればと願っている▶1組づつお迎えする小さな小さな保養だけれど、国が向かおうとしている方向にNOと意思表示する大きな思いも込めて。(山崎圭子 w23.91439@gmail.com)



わたしと沖縄
高江、辺野古

天色便り
あまいる探偵団、走る！
手づくり市民メディア
第28号 2016.9.15

あまいるだより



声をなく市民ラジオ
ことばにする
耳をかたむける

AIMAIRO CHANNEL
あまいるチャンネル

http://www.aoibiwako.org/amairo-channel/

びわ湖の森を元気にするkikitoペーパーを
使用しています(びわ湖の森の間伐材活用)

木kikito

あまいるだより(天色便り)第28号
あまいる探偵団、走る！手づくり市民メディア
特集/わたしと沖縄 高江、辺野古
発行日/2016年9月15日
編集/あまいる探偵団
(綾牧生・岸田知之・北岡七夏・きむきがん・中野和子・藤井朋子)
表紙タイトル/岸田知之
発行/特定非営利活動法人碧いびわ湖
～大切なことを他人まかせにしない。自分たちで力をあわせてつくる～
〒521-1311 滋賀県近江八幡市安土町下豊浦3番地
TEL0748-46-4551 FAX0748-46-4550
Eメール info@aoibiwako.org
ブログ http://aoibiwako.shiga-saku.net/

暮らしのコラム

「私と平和」

前田奈緒美

日本は、戦後70年から今年、戦後71年目に入りました。現在の政権が憲法を変え、日本を戦争の出来る国に変えようとしている今、色んな分野から見ても私達は大きな岐路に立っていると感じています。

これだけ文明が進んで、同じ地球という一つの星と一緒に住んでいながら、なぜ共生ではなく争いの道を進んでゆくのか……

私は、人類史上最初の原子爆弾を落とされた日本であるからこそ、世界からすべての争いをなくすという考えの先に立つ国であってほしいと思います。そして、そういう国に住む日本人であることに誇りを持ちたい。そうなるためにも、まずは、自分自身の生き方が大切……と思える今日この頃です。

自分のため、お金のためだけでなく他の人や自然に対して、ほんの少しでも貢献が出来る生き方をしてゆくこと。自分には何が出来るのか少しずつでも学び、考え、実践していくこと。

そして私は、約10年前から暮らしの中で「世界平和の祈り」を祈っています。

紛争、テロ、原発のこと沖縄の基地の問題、悲しいニュース……色々な出来事があり、日常生活でも子育てをしてゆく日々の中、平和な気持ちとは反対に怒りや悲しみ、不安……と様々な感情が出てくることがあります。心が不安混迷する時、どうしたらいいのか分からない時ほど私は、心の中で繰り返し祈っています。「祈りをして何になるの?」と言われても私は、世界の平

和を祈り続けたい。そう思います。

経済的にも世界各国と密につながっている現在、世界の平和は、個人の生活にも直結しています。

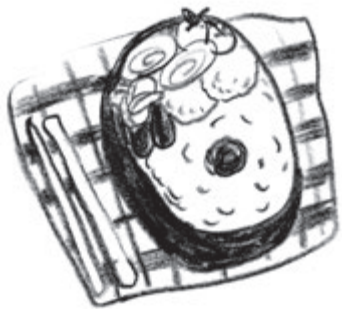
それと同時に個人の想いや生き方も世界に大きく影響している と思っています。

私が平和を感じる時は、みんなで笑っている時、美しい自然の中に溶け込んでいる時、音楽をしている時、物作りをしている時です。

そんな時間が続いてゆきますように
1日も早く世界から戦争や貧困、悲しいことがなくなって平和な日が訪れますように

毎日祈り続けながら少しでも世界が良くなるよう行動し、世界平和への想いを物作りや音楽で表してゆきたいです。

世界人類が平和でありますように



前田奈緒美…3人の子どものお母さん。
「ナナオト」という夫婦ユニットでボーカル&ギターを担当。

こんな本、いかがですか？

さあ戦争だ。
あなたは どうする？

「共和国」という小さな出版社から、ついに刊行されました。文章の池田浩士さんは大津市在住のファシズム文化研究の第一人者。絵の高谷光雄さんは染色画家です。

まだ本になる前に池田浩士さんから紹介されたご自身の文章をもとに、前号のあまいるだよりの特集では対談をしました。その文章は「右翼の教科書」のようで、びっくりした人も。私は、池田さんの「戦争はあかん!」という本気(マジ)を感じて、感涙。いったいどんな本になるのかなーと楽しみにしていました。

画家の高谷さんは「まず、感じる。感じたら頭が動き出します」とおっしゃいます。自分の感性を磨かなくちゃ。私にとっての真実とは何か?言われるままでいいのか?「みんなのために」と言って戦争ははじまっていく。そんなとき「戦争はおかしい」「それはみんなのためなんかじゃない。もっとちがう方法があるはずだ」って大勢の中で声をあげられるでしょ

『戦争に負けないための二〇章』
(池田浩士/文 高谷光雄/絵 共和国)

うか?一どきどき!
この本はタイトル通り、戦争に負けないために読む本です。えっ?なんでやねん!そもそも戦争はいやや～って思うでしょ。そうなんです。だけど、安保関連法案が通り、どんどん戦争になってもおかしくないのが今の世の中。戦争できちゃう準備がちゃくちゃくと進んでいます。「経済の安定のためならしかたない戦争」が、はじまりそうな気配が強くなっています。

つまり、「戦争になっしまわれないよう」に読む本なのです。読むだけじゃなくって語り合うための本でもあります。少人数でも語り合う場というのは、ファシズムに対するカウンター。小さな集いから風が吹く。風通し良くしたいものです。誰かと感想を語り合ううちに自分が向き合うべきテーマがあらわれてきたりします。

この本を読んで、なんやこれは!と叩き付けたくなる人、愛を感じちゃう人、一緒に読みたい人をさそってお茶会をしたくなる人、中にはこわくってなかなか読めない人なんかもおられるかも。「共考と行動のための20の絵物語」ぜひお手に取ってください。(北岡七夏)

蟻の牙

ありませんか?
生活の中の、これだけは…
というこだわり。
小さいことだけど、私一人
やったらって仕方ないかもしれ
ないけれど、でもやっぱりこれ
だけはゆずれない…
というこだわり。
小さいけれど、痛く突き刺す、
「蟻の牙」のようなこだわりを
紹介します。



大好きな「くらしとせいじカフェ」を、と
身近にしてみたい。キーと買って友人の家
にお邪魔して、お茶しはがら日々の
本音から憲法や地球のことなどあれこれ
お喋り。お喋り「個人的くらしとせいじカフェ」
という小エッセイがいつか「蟻集まって樹を
揺るがす」とはなるか信じて。岸田知之

沖縄のアメリカ軍基地建設反対の動きを
ご存知ですか？十分な報道はされていま
せん。美しい海や、やんばるの自然を壊さ
ないでほしい。ただ普通の暮らしを守りたい
だけ、戦争に関わる基地はいらない。
沖縄だけの問題ではなく、これはみんな
の問題。あまいる探偵団
のきむきがんは時間をみ
つけては高江や辺野古に
通っています。沖縄に想
いを寄せるむーたんと渡
部秀夫さんと、あまいる
探偵団の面々と一緒にそ
んなことなどおしゃべり
しました。



小野裕美子(以下むーたん) / 沖縄に移住して
る友だちがいて、やんばるで座り込みをやってた子
が知り合っていて、知ったのが二〇〇六年とか七
年。その頃はえーって感じて、ただまだ他人事。
アーサー・ビナードさんのお話を聞きに行ったら
辺野古の話で、沖縄に何回も行ってたから、これ
は恥ずかしいなって思ってたのが去年です。住
んでる友だちの話とか聞くと、住んでる人が反対
運動するのは大変って。

中野和子(あまいる探偵団・以下和子) / 地元
の事情があるってこと？

むーたん / 詳しくは聞いていないけど。基地の話
はしても移住してる子と一緒にいくことはないか
な。だけど最近さすがにSNSで書いたりして
る。だから滋賀でも…とほんまに思います。

渡部秀夫(以下秀夫) / 渡部建具店という屋号
で小さな動きを大切に活動しています。環境と生
産者に配慮して、食べると身体が喜ぶようなもの
を選んで販売しています。小さな映画館というの
もしています。結局そつうのをやっているのは、今
世の中で自分がどうやって生きていくかというこ
ろで、こういう選択肢もありますよって提案が
したいのかな。無農薬の野菜おいしいのあるよ
か、これ作ってるのは友だちでその人を紹介する
ことも出来るし。そうやってつながっていったら楽
しく豊かな関係性が生まれて、心地よい地域とか
日々になっていくんじゃないかなって。高江と辺野
古は毎回セットで行って、いつも障がい当事者の
方と行っています。

和子 / 行くきっかけもその人だったの？

秀夫 / はい。まずその人が沖縄に行くからってこ
とで僕はヘルパーとして、沖縄のモニユメント的な
ものを全て連れ回され(笑)。高江に何回か行っ
た後に、滋賀にいて何が出来るんだらうって考え
て活動にはやっぱりお金が必要なのでそれをバック
アップできないかと思って、高江のグッズを滋賀で
も売ろうと。今回の企画でもう一歩踏み込んだも
の、直接的な新しい動きがきたらいいなと思っ
ています。

「中立」とは？

綾牧生(あまいる探偵団・以下牧生) / 私は六
年ほど前に石垣島に家族で行ったけど、ひめゆり
の戦跡に行くとかそういう経験すらもなく。き
むきから入ってくる情報しかない。

きむきがん(あまいる探偵団・以下きむき) /
えらい偏った(笑)

牧生 / やっぱり偏っているのかな？

きむき / どうやるねえ、偏ってないって言いた
いけど。

牧生 / フェイスブックとか見てたら、いろんな立
場の人がいるんな風になって。でも、「そうじゃ
ない」って主張する人たちの声はあまり目にし
ていないから。そこを中立的に、でも何を「中
立」って言うか分からないけど。きむきさんの
仲間たちがやっていることと正反対の人たちを向
いて、その人たちの言うことも聞いてみたいな
と思うし。

和子 / まきおちゃんは、推し進めようとしてる人
たちの意見も聞きたいってことやん？

牧生 / うん。知らない、「これが自分の意見で
す」って言えないような気がする。でも今の国
のやり方は嫌な感じとは思って。

きむき / かっかちゃん(和子)が前に、そもそも「中
立」なんかないって言ってたよね。

和子 / まきおちゃんが、「偏ってる」って言葉にす
ごく敏感だなって思ったの。でも偏ってない意見
なんてないでしょ？ その中で自分はどれを掴む
かが問題なのであって、中立であるかどうかは重
要なことじゃないと思う。それを権力者が自分た
ちの言うことを聞かせるために「中立じゃない」
って言い訳をする。

きむき / 私はこの言葉に励まされてる。

牧生 / こないだネットでスウェーデンにいいがな
いって記事を読んだの。みんなで決めたルールを
守らない人がいじめの対象になっちゃう。ルール
に準拠することがとらえず、「中立」で、そこから
どうずれているかで見がちかな。だから偏っ
てるんじゃないかと、自分はそのルールからず
れちゃってるんじゃないかと。その真ん中は何
かって言うと、これまで受けてきた教育がどうし
てもあるんだと思う。

むーたん / 自分もそうやなあ。バイリンガルの授
業を受けたことがあってYesかNoかって絶
対に言われて、その授業に慣れるのに時間がかか
ただけ。学校教育で洗脳されてるんだなあ



わたしと沖縄

て思ったの。日本人は自分の意見を言うことに
慣れてないかな。自由に生きてるつもりだった
けど、そんなことないなって。

秀夫 / 僕、カウチサーフィン(※旅行者が無料で
家に宿泊させてもらう)ってやってるんですけど、
ホスト(提供する側)は旅人を受け入れて、逆
に自分が泊まりたい時はサーファーになってホス
トを探して、っていう。お金を介さずに善意でや
るものなんです。それで来てくれたベルギー人と
喋った時、「結局YesかNoかどっちなんだ」
って聞かれることが多かった。僕はどっちでもい
だらう、YesかNoってことじゃないんだ
って思う場面も多くて。日本とヨーロッパの文化
の違いを感じましたね。

和子 / ちょっとどころじゃないだよね。私力ナ
ダに住んでただけで、カナダの人ってちょっと
日本人に似ててあまりスバズバ物を言わない。そ
れでも友人がカナダ人に「でもどっちでもいい
ってことあるよね？」って聞いたら、しばらく
考えて「ない」って言ったの。どっちでもいい
ことはいらないよ。私たちがなんか、どっちでも
いいことばかりだよ。

牧生 / さっき私、「推進派の人の意見も聞かなく
ちゃ」って優等生みたいなことを言ったけど。そ
れって結局自分の意見を決めることを先延ばしに
してるだけなのかなって思ったの。だから、そう
やって言いがかりつけて逃げることはなんぼでも
できて。でも高江のことはテレビでも流れたんだ
よね？ そういうのを見てざわざわした気持ちが
大事で、それで現地に行く人もいるんだし。ざわ
ざわってなったその人が、こうやって話せる場が
あったらいいなって思う。誰にも喋れないまま
と、その気持ちはなかったことにして自分の暮ら
しに戻るのが多いのかな。

きむき / YesかNoか、私は情報があった
ら言える。卵焼きと目玉焼きだったら両方想像
できるから絶対卵焼き、とか。どっちでもいい
ってことはまずない。でも、〇〇党の今回の政策に
ついてどう思うかって言われたら、「どっちでもい
い」って言うってしまうことはある。だから、わか
らないことはわからないって言う。

「なんか」Pronoun

和子 / むーたんは「この時期に高江に行かない
国会議員は国会議員じゃない！」って言うたよ
ね？

むーたん / (笑)。メールをしたんですよ、「行っ
てください」って議員さんに。

秀夫 / 僕は自分の暮らしを大切にしたいという
のがあって。「自分」っていうのは何かって
いうのが大事で、「自分さえよければ」っていう自分
はなくて。友だちとか近所、自分の住んでい
るところにある自然とか文化、その関係性の中
にある自分。そこで妻や子どもが笑ってたりする
そういう空間や場が大切に、それを守っていき

と思っただけ。高江や辺野古って距離的には遠
いけど、そこから得た自分の気持ちとかにしっかり
向き合って、その上で自分の暮らしを大切にしたい。
想いを馳せながら自分の今やれること、その
中で高江に何が出来るか。高江とか辺野古に何
回か行って思ったのが、集まっている人たちは名前
で呼び合ってますよね。それって国会議事堂前
にはないなって。

和子 / それって、沖縄は苗字が同じ人が多過ぎ
るからじゃないの？

一同 / 笑

秀夫 / 国会前の反原発運動とか僕も行ってた
んですけど、向こうは数で言うんですよ。何万人集
まりました、とか。中央らしい動きだとは思
うけど。でも沖縄の運動は暮らしと直結して
僕にはしっくりきて。

牧生 / 個人の暮らしをみんなが大事にしてる。沖
縄の運動にはそれがあって。

岸田知之(あまいる探偵団・以下知之) / さ
っきの話に比べると、個人の意見を尊重するべ
い。それがあればYesかNoかの表明がしやすい
それがないからお互いに聞き合わずに、空気読ん
だり世間の「数」に振り回されちゃう。で、自
分の意見は曖昧なまま。それが個人的にはす
気持悪い。

「声」に耳を傾ける

牧生 / 高江では今、何が必要なの？

きむき / 人。やっぱり人やねん。パッと来てくれ
る人もとっても大事で。そういう人が増えれば
るんな人が入りやすくなる。

持ち帰って何が出来るかってのはすごく大き
いと思うから。世論のつくり方。私は小さい集まり
が好きやから、地道にやってみて誰かが気付
いてくれたらいいなって。滋賀の仲間と同じよ
うに普通に暮らしている人たちが、突然オスプレ
イに悩まされてるって言うことを伝えられないか
って思う。生きてる温度って言うかすごく抽象的
なやけど、どうやってたら伝わるのかな？

和子 / たえば、学生さんで誰か行きたい人いま
せんか？って募集してみたりとか。あと、ママの
自主保育で誰か行きますか？とか。もう少し工
夫をして広げること考えなあかんのかな。

きむき / マルシェで渡航費集めて、お金が来た
分だけやたらいいんじゃない？ マルシェに来る
人たちが子チャリやたら買っちゃったり珈琲やたら
飲むよ、ってこともアクションやん？ 前に満
月マルシェに出たときは看板とか作ってやって
んけど。

知之 / あれで実際認識もった人も結構いたと思
う。

和子 / 秀夫さんは何かないですか？

秀夫 / 漠然と浮かんでるのは、今ある技術を使
えないかなって。思い付いたのは向こうと映像で
…なんだっけ？パブリックビューイング？

知之 / こないだ新宿でやってなかった？高江の映
像流してた。

きむき / 録画の動画やったような。現状こんな
ですって。

秀夫 / あとはその現地の人の声、直接聞けると
また変わるかなと思う。活字とかでもなく声とし
て、おっちゃんやおばちゃん、若い人が喋ったり
てのが聞けたらいいかな。

きむき / 仕事でいるんなとこに行ってるけど、滋
賀の地域性ってすごくいい、文化もすごい進んで
る。こういう風に政治をしつかり語れる場所も
あって。

知之 / 琵琶湖も関係してるのかな、せつけん運動
とか。生活に直結した話だね。

きむき / 選挙の作り方とかもむっちゃかわい
く楽しい。やっぱりお母ちゃんと子どもって
は大きいと思う。命と向き合ってるから柔ら
かいか。

知之 / 日本でも投票率低いのはある意味当然な
かも。自殺率高いってのは自分の命にも関心を持
てないってこと、生活そのものがかけ離れてる。
昔東京の高尾山の圏央道反対の運動に参加した
時に聞いたんだけど、インドの反対運動は木に抱
きつくんだって。今の日本では木に抱きついて
る人の想いが至らない。豊かな生き方がどう
いう事なのかっていうのを広げていきたいな。

和子 / 個人個人が自分の意見を持てるのが大事
やと思う。

むーたん / 最近高江のことでモヤモヤしてたの
で。どうしたらいいかと答えもまだないけど。
疲れたら休んだりして、考えたいなって。こ
ういう場があったらありがたかったです。

秀夫 / 「中立」を、自分は「普遍性」って
言葉を使ってるなと思って。空気を読んでいる
のは、空間の普遍性。でも、もつべき視点は時間
的普遍性かな。今を「俯瞰する」っていつか
自分はどうなとこに立ってどういう状況にあ
るか、見ようとするのが大切。その中で自分
はどう動くか。

あと高江は人と情報が足りてないってこと
で、できたら学生に行ってほしい。彼らに情報提
供するには、マルシェとかでやるのもいいと思
うし。情報よりも「声」という血肉、記号にな
ってしまった「情報」という冷たいものではなく、
新聞とかSNSで知る情報だけじゃなくって行
った方の声を届けて、正しいか否かじゃなくって
私たちが思っている。来てくれた人がそれに触
れて、いるんなものが生まれるだろって思う。そ
ういう場を作りたいのかな。

きむき / 自分の暮らしはここにあるって、今自分
が通ってるあの場所があるって。「小さな暮らしを
守りたい」とか、「こんななら嫌やわ」とか、
沖縄の問題は沖縄だけの問題じゃなくって日本
市民の問題なんやと。たまたま沖縄なだけで、今
の政治がやるうとしてることに對して、一人の市
民としては声を上げておきたいな。だからこう
いう場がとっても大事って思ってる。

和子 / 秀夫さんは何かないですか？

秀夫 / 漠然と浮かんでるのは、今ある技術を使
えないかなって。思い付いたのは向こうと映像で
…なんだっけ？パブリックビューイング？

知之 / こないだ新宿でやってなかった？高江の映
像流してた。

きむき / 録画の動画やったような。現状こんな
ですって。

秀夫 / あとはその現地の人の声、直接聞けると
また変わるかなと思う。活字とかでもなく声とし
て、おっちゃんやおばちゃん、若い人が喋ったり
てのが聞けたらいいかな。

きむき / 仕事でいるんなとこに行ってるけど、滋
賀の地域性ってすごくいい、文化もすごい進んで
る。こういう風に政治をしつかり語れる場所も
あって。

知之 / 琵琶湖も関係してるのかな、せつけん運動
とか。生活に直結した話だね。

きむき / 選挙の作り方とかもむっちゃかわい
く楽しい。やっぱりお母ちゃんと子どもって
は大きいと思う。命と向き合ってるから柔ら
かいか。

知之 / 日本でも投票率低いのはある意味当然な
かも。自殺率高いってのは自分の命にも関心を持
てないってこと、生活そのものがかけ離れてる。
昔東京の高尾山の圏央道反対の運動に参加した
時に聞いたんだけど、インドの反対運動は木に抱
きつくんだって。今の日本では木に抱きついて
る人の想いが至らない。豊かな生き方がどう
いう事なのかっていうのを広げていきたいな。

和子 / 個人個人が自分の意見を持てるのが大事
やと思う。

むーたん / 最近高江のことでモヤモヤしてたの
で。どうしたらいいかと答えもまだないけど。
疲れたら休んだりして、考えたいなって。こ
ういう場があったらありがたかったです。

秀夫 / 「中立」を、自分は「普遍性」って
言葉を使ってるなと思って。空気を読んでいる
のは、空間の普遍性。でも、もつべき視点は時間
的普遍性かな。今を「俯瞰する」っていつか
自分はどうなとこに立ってどういう状況にあ
るか、見ようとするのが大切。その中で自分
はどう動くか。

あと高江は人と情報が足りてないってこと
で、できたら学生に行ってほしい。彼らに情報提
供するには、マルシェとかでやるのもいいと思
うし。情報よりも「声」という血肉、記号にな
ってしまった「情報」という冷たいものではなく、
新聞とかSNSで知る情報だけじゃなくって行
った方の声を届けて、正しいか否かじゃなくって
私たちが思っている。来てくれた人がそれに触
れて、いるんなものが生まれるだろって思う。そ
ういう場を作りたいのかな。

きむき / 自分の暮らしはここにあるって、今自分
が通ってるあの場所があるって。「小さな暮らしを
守りたい」とか、「こんななら嫌やわ」とか、
沖縄の問題は沖縄だけの問題じゃなくって日本
市民の問題なんやと。たまたま沖縄なだけで、今
の政治がやるうとしてることに對して、一人の市
民としては声を上げておきたいな。だからこう
いう場がとっても大事って思ってる。

和子 / 秀夫さんは何かないですか？

秀夫 / 漠然と浮かんでるのは、今ある技術を使
えないかなって。思い付いたのは向こうと映像で
…なんだっけ？パブリックビューイング？

知之 / こないだ新宿でやってなかった？高江の映
像流してた。

きむき / 録画の動画やったような。現状こんな
ですって。

秀夫 / あとはその現地の人の声、直接聞けると
また変わるかなと思う。活字とかでもなく声とし
て、おっちゃんやおばちゃん、若い人が喋ったり
てのが聞けたらいいかな。

きむき / 仕事でいるんなとこに行ってるけど、滋
賀の地域性ってすごくいい、文化もすごい進んで
る。こういう風に政治をしつかり語れる場所も
あって。

知之 / 琵琶湖も関係してるのかな、せつけん運動
とか。生活に直結した話だね。

きむき / 選挙の作り方とかもむっちゃかわい
く楽しい。やっぱりお母ちゃんと子どもって
は大きいと思う。命と向き合ってるから柔ら
かいか。